

新たな行財政改革の方向性等についての意見交換

(第1回行財政改革懇話会における意見(まとめ))

- 自主財源が少ない本県にとって、歳出の分析とコスト削減の視点は重要。
特に、一人あたりの県税収入が低い中で、人件費が高いことは十分に分析すべき。

- 政策を推し進める基盤として、行財政運営の健全化は重要。
 - ・ 職員配置の適正化
 - ・ 財産の効果的な活用
 - ・ 人材育成

- 地域の視点から、例えば、市町への業務委託など、合併が進んだ本県だからこそ、検討できることもある。

- 県民協働は、非常に積極的であり、その取組は評価される。さらに協働を進める必要がある。

- 効率化を重視することも必要だが、組織や地域を活性化する視点も必要。